

YMCA サービス・ユース事業通信 第7号

2016年6月20日発行

2015～2016 YMCA サービス・ユース事業主任

河合久美子(京都ウエストクラブ)



事業主題:

今こそ Y サカ アップ!

～YMCA とともに ユースとともに 確かな未来を～

西日本区の皆様、こんにちは。今期も残りわずかとなりました。最後の事業通信発行となります。4月に熊本で発生した地震においては、募金活動など、西日本区各地で YMCA と協働した支援活動が行われています。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

今期、各部・各クラブにおいては、実に多彩な YMCA サービス・ユース支援の活動を行っていただきましたことに心より感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。西日本区大会でお会いしましょう!

◎2016 インターナショナル・ユースコンボケーションin台北(IYC) オリエンテーション開催

2016年6月12日(日)京都テルサ西館第4会議室において、2016 インターナショナルユースコンボケーション in 台北(IYC)参加者に対するオリエンテーションを実施いたしました。今夏のIYCでは世界中から100名のユースが台北に集まりますが、内、西日本区からは2名が参加いたします。大阪西クラブ推薦の大学3年生(AYC含め三度目の参加)、京都ウエストクラブ推薦の中学3年生(初参加)のいずれもワイズコメットです。IYC参加には、ユースのこれまでのYMCAやワイズでの活動経験も問われることから、今回のオリエンテーションでは、ユースコンボケーションについてだけでなく、YMCAやワイズメンズクラブについても学ぶ時間を設けました。西日本区遠藤理事、正野書記からもユースに対する温かい励ましの言葉をいただき、少人数ではありますが、和気あいあいとした雰囲気の中で事前の学びを深めることができました。ユースから英語学習への意欲が示されるなど、前向きな姿勢が頼もしく、東日本区から参加する6名と合わせて、台北での活躍が期待されます。皆様の温かいご声援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



2016 International Youth Convocation 1 August-7 August 2016, Taipei, Taiwan

"Service in Action: Dare to Lead"

Venue : Chientan Youth Activity Center



◎Yサ・ユース献金 ご協力ありがとうございました！

Yサ・ユース献金は今期、西日本区で280万円を目標額とし、一人当たり2,000円のご協力をお願いしておりましたが、結果、約265万円の献金をお預かりすることができました(2016年4月末日現在)。

ご協力ありがとうございました。御礼申し上げます。

◎Yサ・ユース資金拠出状況

後半期(1月～6月)において申請を受け、支援金の拠出が実施されたものとしては、次の通りです。

(カッコ内は申請クラブ・部等)

第1回高槻YMCAワイズカップ(大阪高槻クラブ)
カンボジアミッションツアー 参加補助事業(熊本むさしクラブ)
六甲山YMCA整備事業(中西部)
ワイズ農場ピザ窯、BBQ炉設置費用支援(名古屋南山クラブ)
YY(Y)フォーラム支援(六甲部、阪和部、京都部)

◎YY(Y)フォーラム報告

阪和部 YY(Y)フォーラム 4月30日(土) 大阪南YMCA 2階ライブラリー



阪和部のYY(Y)フォーラムでは、ワイズメンズクラブ元西日本区理事の森本榮三氏(大阪高槻クラブ)より、「マザーテレサの躍動する想い」のテーマにてお話を伺いました。森本元理事は、マザーテレサの生前、実際に親交を持たれており、マザーテレサがノーベル平和賞受賞後に来日された時、東京で初めてお会いになり、その後の大阪行きに同行され、日雇い労働者の街を共に歩かれたり、インドにて一緒に施設を訪問されたりしたそうです。彼女に影響を受けて、元理事はこれまでに災害ボランティア等に深く関わって来られたとのことでした。

マザーテレサの生涯やエピソードを通じて「祈るだけでなく、実際に行動に移すことが大切」「愛の心を忘れてはならない」など、示唆に富んだメッセージを伺うことができ、熊本での未曾有の災害に心を痛める現在の私たちが置かれる状況においても、参考となるお話でした。講演に続いて行われたグループ別のディスカッションの時間では、「マザーテレサの想い」を日頃の活動にどのように活かすか、そして私たちのワイズ、YMCAでの活動をマザーテレサならばどのような言葉で表現されるであろうか、ということについて、各テーブルで話し合う時間が持たれました。今回のフォーラムには、大阪、奈良、和歌山からユースリーダー8名も参加し、彼らユース世代の意見も聴けるなど意義深く、心に残る機会となりました。

企画・開催に尽力いただきました、林佑幸阪和部長、土肥正明 Yサ・ユース事業主査をはじめとする阪和部の皆様に御礼申し上げます。



京都部 YY(Y)フォーラム 4月30日(土) 京都YMCA 三条本館 地階マナホール

去る4月30日(土)午後2時から京都部YY(Y)フォーラムが開催されました。これまでは宇治市のYMCAリトリートセンターに於いて夜桜フェスタの開会前に同所にて行われていましたが、今期は趣向と会場・日時を変え、京都市内の京都YMCA本館にて開かれました。ワイズメン31名ユース等33名YMCAからの参加者を含め総勢72名が集まり、「気候変動・環境問題」をテーマにワークショップ形式で始まりました。京都プリ



ンスクラブメンバーで元京都市環境政策局環境企画部環境管理課長の宇高史昭さんにアドバイザーを依頼しました。

全員を8グループに分け、それぞれ進行役を決めて自己紹介から始め、気候や環境問題を中心に興味のある内容を逐次書き出し、それに付いて意見や感想、体験等を話し合いました。問題点を洗い出し、その解決策を見出して各グループから一人ずつ発表して頂きました。今回のテーマは野外のキャンプリーダーにとっても、また

国際ボランティア会の若者達にとっても、子供達のために美しい地球を未来に残すため、自然の大切さや日常生活の心掛けについて意義のあるテーマであったと思います。宇高アドバイザーの体験やCOP国際会議での問題点も含め、これからのYMCAやワイズの取り組むべき課題の一つではないかと思われまます。各グループから若いリーダー達の元気な発表の後、宇高さんのまとめと解説があり、ワークショップは終了しました。そのあと美味しいサンドイッチと飲み物で老いも若きも和気あいあいの交流タイムが持たれました。YMCAの野外リーダーと国際リーダーの活動紹介があり、ワイズからは高田京都部長がワイズメンズクラブの楽しく意義ある活動紹介と、近い将来是非入会されますようにとの案内があり、京都YMCAの神崎総主事の謝辞と挨拶で午後4時20分閉会となりました。来期もテーマを変えて楽しく意義あるYYYフォーラムが開かれますことを祈念致します。



(報告者:京都市Yサ・ユース事業主査 小櫻武彦)

九州部 YYY フォーラム

5月28日(土)熊本において開催が予定されていましたが、震災の影響のため、中止となりました。

◎中西部 六甲山 YMCA 整備事業「六甲山 YMCA に集まろう！」 4月16日(土) 六甲山 YMCA



4月16日(土)、六甲山頂に位置する自然に囲まれた六甲山 YMCA において、中西部の企画により、諸施設の整備・掃除作業が行われました。中西部のワイズメンはもとより、阪和部、六甲部、大阪 YMCA、HHリーダー、留学生の協力を得て、総勢78名の参加により、テントサイトの防腐剤塗り、本館下やバックヤードの落ち葉拾い、野外食器の消毒など、様々な作業が行われたとのことでした。六甲山 YMCA が、利用される方に気持ち良く過ごしてい

ただける安らぎの場所となるよう、企画し尽力下さいました、奥田時夫中西部長、吉田由美 Y サ・ユース事業主査をはじめ、ご協力された皆様に感謝申し上げます。

◎第1回 滋賀 YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2016 開催 6月12日(日)

滋賀県野洲市 希望が丘文化公園 陸上競技場

梅雨空が心配されましたが、雨は初開催を祝うかのようになれ、心地よい風が吹く中、第1回滋賀YMCAチャリティーランは開催されました。遠藤理事とともに訪問。ロケーションがいいというのは、チャリティーラン開催に欠かせないと思うほど、山あいの景色に恵まれた運動公園で、ランナーはのびのびと参加されていました。献金も目標を達成されたと聞いています。準備に運営に大活躍されたびわこ部の皆さん、お疲れさまでした。



報告:西日本区書記 正野忠之

◎クラブ例会、区大会等 出席報告

AYC 報告会 in 京都ウエストクラブ例会 4月28日(木) 京都ロイヤルホテル&スパ

4月に開催された京都ウエストクラブのYサ例会において、ユースを招いてAYC報告会が行われました。報告者は、昨年夏のアジアユースコンボケーションに京都から参加された、京都大学大学院生で学生YMCA シニアの中島敬之さんと、京都YMCA職員の關つぐみさんのお二人です。AYCの内容紹介や感想に加え、終了後のアクションプランへの取組みについても報告が行われました。AYCでの学習の成果を生かすべく、京都YMCA国際専門委員会の協力を得て、アクションプランの一環として、昨年冬、難民問題に関する勉強会を京都で開催されたとのことでした。AYCがユースにとって充実した経験であり、開催中だけでなく、終了後においても、その後の彼ら彼女らの積極的な行動に影響を与え続ける大きなきっかけであったことを知ることができ、貴重な機会となりました。



東日本区大会にてユースアワー、IYCオリエンテーションに参加 6月4日(土)～5日(日) 長野



6月4日(土)～5日(日)にかけて長野で開催された東日本区大会に参加、同時に開催されていた東日本区のユースアワー、IYCオリエンテーションにも正野書記と一緒に参加させていただきました。今夏IYCに東日本区から参加予定の6名のユースが区大会に招かれ、ワイズメンと共に学びの時間を持たれておりました。ユースアワーでは、少人数のテーブル毎において、自らの所属するグループ(都市YMCAや学生YMCA、ワイズメンズクラブなど)の抱える問題点について各自が意見を述べた後、グループで討議し、解決策を求め、全体で発表するというワークショップが行われました。東日本区ではユース委員会が組織され、活発に活動されており、IYC参加者に対して、オリエンテーションでも英会話指導を含め手厚いフォローをされていたことが印象的でした。ユース支援に関しては、今後、東西の事業主任や委員会が交流を密にし、お互いに情報交換し、優れているところは取り入れ、共に学び合う態勢が必要ではないかと感じた次第でした。

◎熊本地震に関して

5月27日(金)～29日(日)、熊本を訪問させていただきました(熊本市内～益城町総合体育館、西原村～南阿蘇村～阿蘇YMCA)。避難所となっている益城町総合体育館には、全国から応援に来られたYMCAやワイズメンの方々、ボランティアの方々が詰めておられ、現地では厳しい状況が続いていることに衝撃を感じました。詳細は理事通信6月号に掲載いただいていますので、そちらをご覧ください。

被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りいたします。

